

一般社団法人
島田建設業協会広報誌

iseta

vol. 144

平成27年7月1日発行



Zoom up インタビュー

島田労働基準監督署長	寄田 茂氏
島田土木事務所長	井ノ口秀彦氏
志太榛原農林事務所長	天野 弘氏
林野庁関東森林管理局	
大井川治山センター所長	神林 弘之氏

現場紹介 言いたい放題

トピックス・防災日誌・協会だより



プロペラ水車

【前略】

平成23年4月 磐田労働基準監督署次長
 平成25年4月 静岡労働局労働基準部
 健康安全課産業安全専門官
 平成27年4月 島田労働基準監督署長



インタビュアー
 (原、山本、足立、大石)

島田労働基準監督署長 寄田 茂氏



プロフィールをお聞かせください

出身地は、旧磐田郡佐久間町で現在の静岡県浜松市です。近くに佐久間ダムがあり、最近話題となった原田橋の崩壊事故現場は、帰郷の際によく利用していました。

現在では、三遠南信自動車道が近くまで開通しており、車で帰郷するのは便利になりましたが、車以外の場合、JR飯田線で豊橋駅から二時間近くかかります。

趣味というほどでもありませんが、たまに美術館に絵画を見に行ったりしています。最近遠出はほとんどしませんが、昨年まで静岡労働局に在籍しておりましたので、帰宅の途中で、静岡市美術館で開催される絵画の特別展に、何度か行ったことがあります。

今までに思い出に残っていることは

島田労働基準監督署の勤務は、過去に四年あります。

最初は、平成十六年四月から平成十八年三月までの二年間、第一課の課長として勤務しておりました。その後、平成十八年四月から島田労働基準監督署が課制署から方面制署に変更となり、それに伴い私は、第二方面主任監督官

として、二十年三月までの二年間勤務しました。

特に第二方面主任監督官としての二年間は安全担当として、貴協会並びに会員の皆様には大変お世話になりました。その当時、管内では第二東名高速道路（新東名高速道路）の建設や、富士山静岡空港の建設が盛んに行われていた時期でした。建設業における死亡災害も年間三〜四件発生し、大変忙しかったと記憶しています。

今後の取り組みをお聞かせください

建設業における死傷災害は長期的には減少傾向にあり、これもひとえに業界団体の皆様のご努力の賜物と考えております。しかしながら、建設業においては未だに死傷災害の三分の一を墜落・転落災害が占めていることから、本年七月には労働安全衛生規則の一部を改正する省令が施行され、足場の作業床に係る墜落防止措置の充実を図ることとしています。今後、広報等周知に努めていきますので、何卒ご協力をお願いいたします。

また、本年度は、業種横断的な対策として、全産業の死傷災害のトップを占める転倒災害防止対策として、「STOP! 転倒災害プロジェクト201

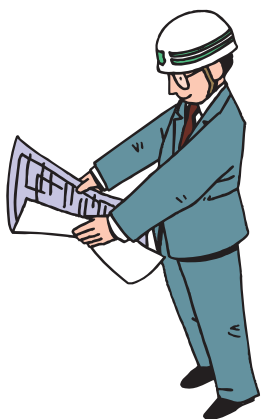
5」を各労働災害防止団体と連携して進めていきます。ご協力をお願いいたします。

建設業界に望むこと

本年度は、平成二十四年度から平成二十九年までの五年間を推進期間として静岡労働局が策定した、第十二回労働災害防止推進計画の中間年に当たります。その中で建設業は重点業種に位置付けており、特に死亡災害の減少を目標に掲げています。

しかしながら、建設業における死亡災害は本年に入って増加傾向にあり、静岡労働局内において四月末現在で、死亡者数は既に七人となっています。昨年一年間の建設業の死亡者数は同局内で八人でしたので、昨年を上回るペースで発生しています。

貴協会並びに会員皆様には、今一度、高所からの墜落・転落災害や、車両系建設機械等による重機災害の防止の徹底を重点とした安全パトロールの実施等、工事現場の安全管理の強化をお願いいたします。





【略歴】

- 平成24年 4月 交通基盤部管理局政策監
- 平成25年 4月 交通基盤部道路局道路企画課長
- 平成27年 4月 交通基盤部島田土木事務所長

インタビュアー
(原、山本、大場、梶山、三村)

島田土木事務所長
井ノ口 秀彦 氏



出身地や趣味など教えてください

出身は浜松市西区です。生まれも育ちも浜松市で、大学生から34歳までは実家を離れていましたが、現在も浜松市に父、妻、次男と4人で住んでいます。

趣味はスポーツ観戦です。特にサッカー観戦が好きで、ジュビロ磐田を応援しています。サッカーはすることも好きで、今も昼休みには事務所の若い職員達と楽しんでいます。

休日は、家庭菜園をしています。田んぼも畑もあるので、米は6年前から作って、2年ほど前から畑ではトマト、ナス、レタス、キャベツなど作っています。収穫が楽しくてたくさん作るようにしたのですが、やはり水やりなど大変で、休日は忙しくなりました。国内旅行も好きですが、家庭菜園が忙しくなったこともあり、最近はなかなか行けません。

入庁してからの仕事や

印象に残っている

思い出がありましたら教えてください

昭和57年入庁時の配属は、沼津土木事務所の土肥支所です。実家に帰省している時に、大型台風の影響により伊豆半島の道路が寸断されたため、清水

港からフェリーを使い土肥に向かった事を覚えています。今までを振り返ると、土木事務所では、道路、河川、砂防など、様々な現場を担当しましたが、本庁では、道路関係の仕事が多かったです。

昭和63年から平成2年までは道路維持課にいて、道路災害復旧の担当をしていました。道路が被災すると県内各地の被災箇所を調査して、どういう工法で復旧するかなど関係機関と協議していました。

現在、当事務所管内の(一)静岡焼津線の焼津市浜当目で災害関連事業によりトンネルを施工していますが、当時、すぐそばにある「たけのこ岩」トンネルを同じように災害関連事業で施工しましたが、その担当もしていました。今でも雨が降ると、何か災害が起きるんじゃないかと心配になります。

楽しかった思い出は、土肥支所時代に(国)136号の道路改良工事で、旧土肥町と旧賀茂村を結ぶトンネル工事を2本担当した事です。

土木の良いところは、自分が手がけた公共施設が、地図に残り、30年以上経った現在も存在しているというところではないでしょうか。今でも現地を通るとその時のことが懐かしく思い出されます。

今後の事業や

建設業者に期待する事はありますか

当事務所管内は、駿河湾から南アルプスまでの広大なエリアを有しており、商工業、農業が盛んな平野部から、自然豊かで多くの観光地を抱える山間地域までの多様性に富む地域であります。この地域が今後も発展を続けるためには、住民の生命・財産を守ったり、交通ネットワークの充実を図るための必要な公共施設を整備するとともに、今ある施設が将来にわたって長く使えるように確実にメンテナンスする事が重要です。

限られた予算の中で、選択と集中によって、効果的に事業展開していきたくと考えています。

建設業者の皆様は、万が一災害が発生した際には、ガレキ等で塞がれた道を切り開いて、救援・救護の要となる緊急車両の通行を確保したり、一日も早い施設の復旧に協力していただくなど、私どものパートナーであり、地域に欠かせない存在だと思っています。常時は社会資本整備の充実に向け、安全かつ高品質な公共施設の施工を心掛けるのとともに、万が一に備えた準備も引き続きお願いしたいと考えております。

【略歴】

平成23年4月 経済産業部農林業局畜産課長
 平成25年4月 経済産業部理事兼畜産技術研究所長
 平成27年4月 経済産業部志太榛原農林事務所長



インタビュアー
 (原、佐藤、中林、梶山)

志太榛原農林事務所長 天野 弘 氏



プロフィールをお聞かせください

生まれは島田市で、大学時代の4年間以外はずっと島田市に住む鳥つ子であります。私は大学で獣医学を学び、畜産の獣医職として、昭和53年に入庁し、主に畜産や家畜の病気の関係の仕事をしてきました。家族は、現在は子供2人との4人で、趣味はいろいろありましたが、今はわずかな農地管理と自治会等の地元の仕事に追われています。

思い出に残ることは

長い間に畜産にかかわってきましたが、この間に最も思い出に残ることはBS E（狂牛病）が我が国で平成13年に発生し、その後の大きな社会問題になったことであります。幸い静岡県では発生はありませんでしたが、県庁で検査体制や万発生した時の処分施設の整備など毎日遅くまで仕事に追われました。今では、世界的にもほとんど発生はありませんが、これによって行政の食の安全に対する考え方が大きく変わりました。

しかし、それで終わればよかったのですが、その2年後に鳥インフルエンザが発生し、京都の発生では初めて自衛隊が災害として出動したことも大変記憶に残る出来事でありました。さらに、平成20年には宮崎県で口蹄疫が発生しました。鶏の処分では人の手で対応できたのですが、牛では重機の使用が不可欠となります。そのため、万一の発生に備えて、県

各農林事務所と各協会とで協定を結び、協力体制を築くことができ、関係者の皆様には大変感謝しております。

関心事を教えてください

農林業の関心事として3つあり、TPP、茶業の振興策、農地の集積であります。その中で当地域として関心を持たなければならないことが、茶業の振興であろうと思います。茶価の低迷がずっと続いており、良い時期の半分近くになってきています。茶業界の低迷はこの地域経済にも大きな影響を与えますので、地域全体で考える大きな問題として取り組んでおります。

現在、茶の振興としての取組みには大きく二つあります。ひとつは、金谷西原地区でモデル的に進めています。茶園を大きく集積して乗用機械が容易に導入でき低コスト生産を可能となる基盤整備の推進であります。もう一つは売れるお茶、特徴のあるお茶を作ることです。抹茶にしてお菓子等の食材としての利用や、紅茶などの発酵茶の生産など新しい技術を導入しながら、再生への取組みが必要であると考えています。

農地の集積については、農地中間管理機構の制度を活用しながら積極的に進めるとともに、基盤整備や水路整備なども合わせて取り組んでいきたいと考えます。TPPについては、もし締結され自由化が進展した場合にはお米や畜産物

が大きな影響を受けると言われていますので、今後の動向に注視していきたいと思っております。

林業について教えてください

林業につきましては、大きく二つについて重点的に取り組んでいます。ひとつは、森の力再生事業であります。この事業は県民から年間400円頂いて、人工林の間伐や竹林を整備することにより森林の再生を行っています。この事業は、最終年度を迎え今後の継続に向けて、タウンミーティング等により県民の皆様のご意見をお聞きしているところであります。もう一つは、県産材の生産量の増加に向けての取組みであります。本県のスギやヒノキの8割が伐採のタイミングの時期にありますので、伐採と搬出が円滑に進むよう積極的に取り組んでおります。

今後について教えてください

最初にお話ししたとおり、私は獣医、畜産が専門分野になります。前所長は農業、前々所長は農地専門でしたので、それとは違った特徴を出しながら農林業の振興に取り組んでいきたいと思っております。今後の農林業の発展にとって、農地整備や森林整備などの基盤整備は重要な役割を持っていると考えています。予算の厳しい中ではありますが、選択と集中によりいっそうの基盤整備に取り組んでいきますので、今後とも建設業界の皆様のご協力をお願いいたします。

【略歴】

平成19年4月 関東森林管理局治山課課長補佐
 平成24年4月 関東森林管理局中越森林管理署
 中越山地災害復旧対策室長
 平成27年4月 大関東森林管理局大井川治山センター所長

インタビュー
 (原、三村、梶山、古川)

林野庁関東森林管理局
 大井川治山センター所長
神林 弘之氏



プロフィールを教えてください
 出身は群馬県の赤城山南面に位置する富士見村（現前橋市）というところ
 です。

現在、川根本町に単身赴任をしています。群馬県高崎市の自宅に妻と高校生の次女がおり、長女は東京で大学に通っています。

平成21年に山梨（甲府市）に単身赴任をしたのを機に卓球を始めました。地域のサークルに入って週1回練習をしていましたが、だんだん面白くなってきたので前任地の新潟（長岡市）では週3回練習をしていました。川根本町でも地域のサークルに入れていただいて、毎週金曜日の夜練習しています。

最近の関心事をおしえてください

私は静岡には観光で来たことがある程度ですので、静岡の方の県民性（人柄）に関心があります。私は最初の赴任地が長野県で10年住みました。

長野県民はよく「理屈っぽいと言われるが、確かにそういうところがあるので、逆に理屈が通ることなら、一生懸命やります。物事の筋道を大事にする県民性なのだと思います。逆に私の地元群馬の方は筋道を立てて物事を考えることはちよつと苦手かもしれません。県民性の違いというのは結構あると思っていますので、静岡の方の気質ってどんなのか関心があります。

先程、川根本町の卓球サークルの話もしましたが、できれば、もっと多くの静岡県民の方とお付き合ひしてみたいです。

い。

今までに思い出に残ることはありますか

前任地では、平成16年に発生した新潟県中越地震の災害復旧を行っていた在任中の平成26年度をもって事業が終了しました。

棚田による営農や錦鯉の養殖が盛んな地域で、ほぼ100パーセント私有地での工事でしたので、被災した田、養鯉池の復旧、また、田や養鯉池に引く用水の確保などについて様々な要望をいただき、工事との調整を図るのに苦労もありましたが、概成の際には地域の方々からの呼びかけと自主的なご協力により、盛大な完成記念式典を開催することができ、また、多くの感謝や励ましのお言葉をいただきました、たいへん感激しました。

大井川治山センターに赴任して感じたことがありましたらお聞かせください

前任地では、中山間地域の集落の周辺で地すべり対策をしていましたが、これに比べるとセンターの事業対象地はさすが南アルプスを含むだけあり、相当山深い印象です。遠い現場では事務所から片道2時間半ほどかかります。

また、地元の川根本町（旧本川根町）には千頭営林署があったことなどから、同じ林野庁の組織として当センターに対する地域の関心が高いように思っています。着実に復旧を進めて、地域のご期待に応えたいと思います。

今後の取り組みについて教えてください

当センターで実施している直轄治山事業はセンター発足（平成13年）のはるか

以前、昭和41年から事業が開始されており、終期は平成32年となっています。

このように長期にわたる事業では、途中で、新たな災害が発生する等により、計画どおりに事業を終了させるには困難があります。

また、地域や県からの計画延長のご要望もあると聞いておりますが、今は32年度に向けて、できるだけ復旧を図るよう努力したいと思えます。

今後の建設業界に臨むことがありましたらお聞かせください

建設業の皆様には、ときどきの政権の方針や、大規模災害の有無、経済状況などにより、公共事業予算が左右されるなど、安定的な経営を続けるにはご苦労があることと思えます。

「安全第1」とはよく言われることですが、工事発注者の立場としてやはり安全が一番気にかかります。一度、重大災害が発生すれば、被災者やご家族の苦痛は元より、事業者にとっては、工事を工期内に完成することは難しくなり、経営面でも大きなマイナスとなります。

治山工事では、元請け業者のほかに複数の下請業者が同時に作業することが多くありますが、特に元請け業者さんには全体の作業工程・作業配置などを下請け業者さんの作業員の方一人一人にまで指示を徹底していただき、上下作業・接近作業を避けるなど基本的な部分での災害を防止していただきたいと思います。

着手前



着手前



完成



施工中



工事名 平成26年度中山間総合(中山間・一般)
川根家山川地区抜里西海戸農道3工事

工事箇所 島田市 川根町抜里地内

工期 平成26年9月17日～平成27年1月23日

施工者 株式会社 原小組

発注者 静岡県志太榛原農林事務所

現場代理人 石神 彰悟

工事概要

施工延長:

1工区	農道工	W= 3m・L=300m
	アスファルト舗装	591㎡
	コンクリート舗装	421㎡
	暗渠排水溝	40m
	U型排水溝	31m
	横断側溝	2箇所
	集水桝	4箇所
	等辺溝形排水溝	17箇所
2工区	コンクリート舗装工	600㎡
	流末排水処理工	4箇所

コメント

お茶の終番時期の為、10月中旬まで1ヶ月あまり着手できず、また、アスファルト舗装箇所に湧水池と、山葵田、田圃があり、湧水処理に苦労しました。排水暗渠を仮設し流末処理をして対処しました。

現場紹介

完成



施工状況



コメント

国道362号、川根本町元藤川から青部間をつなぐ藤沢橋の橋面舗装工事です。関連工事との工程調整に苦労しましたが地元および工事関係者の皆様の協力のおかげで無事開通式までに完成することができました。

工事名 平成26年度[第26-D7356-01号](国) 362号防災・安全交付金(国道道路改築)工事(舗装工)

工事箇所 榛原郡川根本町元藤川地内

工期 平成26年7月11日～平成26年10月31日

施工者 株式会社エコワーク

発注者 静岡県島田土木事務所

現場代理人 小林 剛

工事概要	工事延長	335m
	車道舗装工・ポリマー改質	
	アスファルト3型・W	1880㎡
	歩道舗装工・消石灰入り	
	細粒度アスファルト	465㎡

完成



施工状況

コメント

狭小道路の拡幅工事です。想定外に地下水位が高く多量の湧水への対応に苦慮しました。拡幅により利便性の高い道路になりました。

着手前



工事名	平成26年度都市防災総合推進事業舞台民附線道路改良工事(第2工区)
工事箇所	榛原郡吉田町住吉地内
工期	平成26年8月20日～平成27年3月17日
施工者	大石建設株式会社
発注者	榛原郡吉田町
現場代理人	村松 高明
工事概要	片土留式自由勾配側溝 391 m
	道路土工(掘削) 980㎡
	路床盛土工 750㎡
	舗装工 1,320㎡

安心・安全な暮らしのために…

完成



施工状況

コメント

藤枝駅周辺の道路工事という場所から、沿線には有料駐車場、マンション等が多数あり、出入り口箇所の工事には、大変苦労しました。又、大量の資材の置場の工夫も難問でしたが、地元の皆様、通行人の皆様のご理解のもと、工期内の完成ができました。

着手前



工事名	平成26年度(一)上青島焼津線交通環境改善緊急対策事業(交通安全)工事(歩道工)
工事箇所	藤枝市駅前地内
工期	平成26年9月30日～平成27年2月27日
施工者	株式会社 杉山工務店
発注者	静岡県島田土木事務所
現場代理人	鈴木 菊治
工事概要	歩道改良工事 228 m
	施工延長 800㎡
	特殊平板ブロック舗装工 420 m
	路面排水工



言いたい放題

求めているモノは同じ

「この管理表の〇〇が見にくいなあ～整理の仕方を考えて」「工事写真が見にくいなあ～これでは流れが分からない」と完成検査時に検査監に指摘された。受け持ちの現場を優良工事にしたいと、現場も書類も最高の出来栄にしようと努力しているのだが……そう指摘された瞬間に「優良工事は期待出来ないな」と確信した。発注者や私たち受注者も、最高の出来栄を期待し、期待され努力をしている。お互いに良いモノを求めているはずである。

今までに多くの優良工事現場を検査してきた検査監や担当技師から「ここは、このように施工したらいいよ」「ここは、このように管理すればいいよ」などといったアドバイスをもらったことはなかった。「企業努力で考えろ」と言うことなのだろう。そんな中、こんな検査監に出会った。いくつかの指摘を受けた検査の後で、他社の成果品の中で、見やすく分かりやすかった例を挙げて説明してくれたのだ。自分では思いもつかない整理方法で「なるほど」と感心させられ勉強になった。

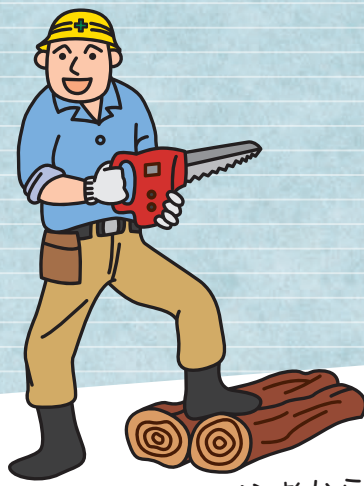
「ありがとうございます。次回の工事現場から活用させていただきます。県知事表彰を目指し、より一層努力します」こんな会話が毎回出来るような関係に両者がなれたなら、より良質な成果品を多く届けることが出来るはずである。



毎年のことですが…

いつになったら実現するのかといつも思っているのですが。。。

「早期発注、年間発注の平準化」やっぱり今年も、上期は仕事がないないないの状況ではないでしょうか。市場が縮小の時代ならなおさら、企業へのダメージは大きい。なんだかんだいっても、建設業は殆どが、中小地場産業。仕事が無ければ、外で探せ、市場があるところへ行くといわれるが、現実はいまうまくいかない。でこのままだとまた、忙しい時期が重なり人手の取り合いが、さらに人手不足を加速する悪循環。これじゃ、建設産業は発展しないかもですね。時代にあった制度っていったいなんなのだろうと思う今日この頃。

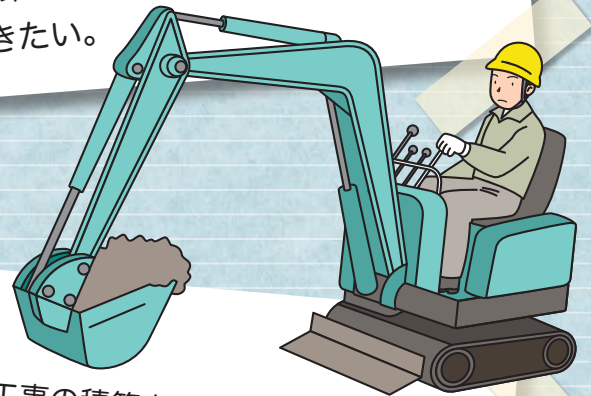


なっとくいかない支障木伐採作業

支障木伐採作業に二点問題があります。まずは費用面です。発注者からは、伐採して適当に玉切って、そばへ集積しておけばいいといわれますが、実際は、4 mに造材し、本体施工に影響のない場所に運搬車両を使って運搬・集積します。場合によっては、索道を張って搬出し運搬する事もあります。このような作業をしているのは、本体工事着手前に何十万、最悪な場合には何百万円と費用が掛かり、実際、いただいている費用の何倍、何十倍にもなります。

次に、施工期間についてです。受注してから地権者との支障木協議が始まります。その期間は、承諾を得るまでに1ヶ月を要することは当たり前で、そこから一連の伐採作業に入り本体施工と順に進みます。このため工期内完成が厳しくなります。それも繰越予算で9月当りの発注物件では、翌繰ができない為、工期に間に合わすのに土日施工、夜間施工などの突貫作業となります。

以上、費用面では現場の実態をよく把握した積算をしていただきたいことと、施工期間の面では、地権者との協議期間と一連の伐採作業期間を含めた工期設定及び繰越予算での工事は早期発注を行うなど改善していただきたい。



仮設計画は柔軟に

昨年、工事を受注した際、仮設管の設置があり、公共工事の積算上では、新品の管を購入して設置してもその材料費は新材の1/3しか計上しないとの事でした。この工事以外の何処で今後何時使用するか分からない中、仕事の確保として赤字覚悟で受注し、この管材(φ1200ポリエチレン管40m)を購入し工事に取り掛かりましたが、指定仮設との事で設計変更しないとの事で実際設置して工事を行いました。水の切回しに大変苦勞し、結果的には、ポンプの水替えでその仮設の役目ができ机上だけで考えている仮設計画は、業者に大きな負担をもたらすだけで、さらに、工事終了時の撤去の際管継手や管材が破損し処分費も掛り大きな損が発生しました。

以前は、管材は、鉄製のコルゲート材が主流で破損してもスクラップ材として販売出来たので損失も少なく済みました。今は、以前とは違い管材にポリエチレンやプラスチックの材料が多くなり、少しの破損でも再利用が出来なく、その処分にも処理費が掛るものが多く仮設材の材料費は全額損金にするか鉄等のスクラップで売れる材料やリースにあるものを検討して業者の健全育成をさらには、柔軟に変更可能な対応を願うものです。

無事故無災害を願って!! 安全祈願祭を開催

建災防島田分会は、4月21日に島田市の「大井神社」において、安全祈願祭を開催しました。

当日は、お招きした島田労働基準監督署長や島田土木事務所をはじめとする県の出先機関の所長等とともに分会役員及び防災委員など55名が1年間の無事故無災害を祈願しました。



平成27年度定時総会を開催

(二社) 島田建設業協会及び建災防島田分会並びに島田地区建設事業協同組合は、5月20日に島田建設業会館会議室において、寄田茂島田労働基準監督署長、井ノ口秀彦島田土木事務所長及び天野弘榛原農林事務所長を来賓としてお招きして、平成27年度定時総会を開催しました。

冒頭木村紘一会長は、「平成26年度は、「担い手3法」と言われる品確法、入契法及び建設業法が改正され、将来にわたる公共工事の品質確保と担い手の中長期的な確保・育成を図るための環境が整い、発注者の責務が明確化され、最新単価を反映した予定価格の設定、歩切の根絶などへの効果が期待される。

また、公共工事設計労務単価の再三にわたる大幅な引き上げがあり、長きにわたって受注額が減少し続け、厳しい経営環境に置かれていたが、明るい兆しが見え始めた。当協会管内においては、近年、静岡空港の開港、新東名や国道473号バイパスの開通など、大型プロジェクトが次々と完成したが、今後は、国道473号バイパス倉沢インターから国道1号菊川インターへの接続道路として、金谷相良道路Ⅱ事業が本格的に着手され、早期開通するとともに、巨大地震による津波に対し、



防潮堤の嵩上げ等のハード整備について、計画の進展と工事の発注時期に期待していきたい。」と挨拶しました。

この後議案審議に入り、(二社) 島田建設業協会、建災防島田分会及び島田地区建設事業協同組合の事業報告と収支決算報告並びに業協同組合の収支予算案が上程され、審議の結果すべての議案が全会一致で承認されました。

全国建設業協会長表彰・静岡県建設業協会長表彰等を多数の会員が、めでたく受賞

(二社) 全国建設業協会長賞表彰 2社4名受賞

- ・ 表彰規程2条3号 山田壽久(株山田組)
- ・ 表彰規程2条4号 池村淑治(池村建設(株))
- ・ 表彰規程4条3号(株ケンコー)
- ・ 表彰規程4条4号(株神田組)
- ・ 表彰規程5条 大石 明(大河原建設(株))

(二社) 静岡県建設業協会長賞表彰 2社6名受賞

- ・ 表彰規程2条4号 友田宏義(株友田組)
- ・ 園田晴義(株園田工務店)
- ・ 若杉光嘉(若杉建設(株))
- ・ 表彰規程4条3号(株三成)
- ・ 表彰規程4条4号(株丸紅)
- ・ 表彰規程5条

中恵 勉(大河原建設(株)) 小泉民夫(株グロージオ) 白津正八(株神田組) 第31回(二社)静岡県建設業協会賞表彰 2社受賞

- ・ 土木部門 最優秀賞(株橋本組)
- ・ 平成24年度(繰越明許) 都市防災総合推進事業津波避難タワー

設置工事(C工区) 建築部門 優秀賞 大河原建設(株)

(二社) 静岡県建設業団体連合会会長表彰 1名受賞

- ・ 表彰状2 菊池松巳(株柳澤組)



労働災害防止に向けて各種講習会を開催

建災防島田分会は、建設業労働災害防止に向けて、従事者の知識を深めるとともに資格取得を促進するため各種の講習会、研修会を開催しました。

① KY指導者養成講座

- 開催日 平成27年4月22日(水)
- 会場 島田建設業会館
- 受講者数 18名

② 各種作業主任者技能講習会

講習の種類	足場の組立て等作業主任者講習	型枠支保工の組立て等作業主任者講習	地山掘削及び土止め支保工作業主任者講習
開催日	6月2・3日	6月9・10日	6月16～18日
会場	島田建設業会館	島田建設業会館	島田建設業会館
受講者数	34名	17名	31名



島田工業高校生現場研修(技士会、土木・建築委員会共催)

高校生に「土木・建築」の魅力を感じてもらい、建設業の必要性の理解促進と技術の継承を目的に開催しました。

- 開催日 平成27年5月22日(金)
- 見学先 中部横断自動車道工事現場

内容 現場見学、高速道路建設について、意見交換会

災防日誌

災害防止への取り組み

危険を軽視するな

今回、パトロールを行った現場は移動式クレーンを使用した土止用部材の引抜作業でした。

現場では法則に基づいた作業（玉掛け・クレーン作業）でしたが、ワイヤーロープと土止用部材との連結部分に多少の問題がありました。

他のチェック項目に関しては良く出来ている現場だと感じましたが、現場担当者はこの支持事項に対し、法則に基づき工夫し最善の作業をしています。

安全は経費が掛かりますから。この一言で、現場利益を上げるため、安全より出来高を優先して作業を進めて、危



険を軽視しているなど思っていました。

現状、社会的・経済的な要因からこのような発言・行動が出てくるのかなとも思います。

しかし、このような背景からヒューマンエラーの発生へと繋がる恐れがでてくるわけです。

利益を上げるために安全を多少でもおろそかにして、それで事故が発生して莫大な損失が発生してしまう事がないよう安全管理が求められます。

日々の安全活動を進めるなかで、同情することなく、作業員1人ひとりをみんなのために安全ルールを守ろうとする意識に変革させていただきたいと考えます。（M・I）



流れ

キケンな自転車運転

学生の危険な自転車運転（もちろんご年配の方や車免許をお持ちの方の中にもいらつしやいます）を見ると、色々と思うところがあります。

通勤時に見かける、並行運転、前後確認を全くしないままの道路横断、信号無視等…。

18歳から自動車免許取得が可能になりますが、学生の自転車講習の機会に、ぜひ車の運転のコミュニケーションを体験して頂きたい。

車を運転する者の視点に立てば、自分視点だけでなく周りが見えてくると思います。それは自身自身が事故に巻き込まれないためにも大事なことです。

改正道路交通法施行により、今年6月1日からは悪質な自転車の運転者に対し、安全講習の受講が義務付けられるようになりました。

罰則の強化や、違反者への安全講習の義務化も大事ですが、違反する前に自分勝手な運転をする視点から相手の視点に立てるようにすることも、無事故へつながるのではないのでしょうか。 Y・O



参加会員数・人数17社 述べ459人
活動内容 交通安全のぼり旗の掲示、通学路・交差点での立哨等。



参加者 島田工業高校都市工学科3年生34人、教師3人、技士会8人

交通事故ゼロを目指して!!

平成27年「春の全国交通安全運動」が5月11日から20日までの10日間実施されました。

当協会も地域と連携してこの運動に継続的に取り組むこととしており、今回も多数の会員が運動期間中、交通安全を呼びかけました。

協会だより ～協会のうごき～



- **総会**
通常総会 5月20日(水)当協会 出席者数53名
- **理事会**
第1回理事会 4月21日(火)当協会
・総会議案の審議(協会・防災・組合)
・自社災害対応拠点及び代替連絡(対応)拠点の周知]に関する拠点使用の合意協定について
第2回理事会 5月20日(水)当協会
・志太榛原農林事務所との意見交換会の開催について
・静岡県総合防災訓練について
- **監査**
平成26年度監査(協会、分会、組合) 4月16日(木)当協会
- **正副会長会議**
第1回会議 4月9日(木)当協会
・年度当初官公庁挨拶まわりについて
・事業協同組合の総会運営について
・安全祈願祭の開催について
・平成27年度静岡県優秀施工者知事顕彰候補者の選定について
・静岡県交通基盤部総合落札方式に関する研修会の開催について
第2回会議 4月21日(火)当協会
・第1回理事会提出議案について
第3回会議 5月20日(水)当協会
・総会提出議案について
- **広報委員会**
第1回委員会 4月9日(木) 当協会
・広報誌VOL.144号の企画
広報誌VOL.144号取材5月7日(木) 志太榛原農林事務所長インタビュー
広報誌VOL.144号取材5月12日(火) 島田労働基準監督署長インタビュー
広報誌VOL.144号取材5月14日(木) 島田土木事務所長インタビュー
広報誌VOL.144号取材5月18日(月) 大井川治山センター所長インタビュー
第2回委員会 6月5日(金) 当協会
・広報誌VOL.144号の校正
第3回委員会 6月12日(金) 当協会
・広報誌VOL.144号の最終校正
- **労務委員会**
第1回委員会 5月29日(金) 当協会
・委員会年間事業計画について
・親子現場見学会について
- **土木・建築委員会**
静岡県志太榛原農林事務所との意見交換会の開催
藤枝総合庁舎会議室
・6月30日(火) 14:00～
- **環境・災害対策委員会**
静岡県交通基盤部総合落札方式における災害時事業継続計画

- (BCP)の申請(更新)研修会の開催 当協会
・更新申請対象 3月30日(月)個別相談:4月7日(火)
・新規申請対象 4月3日(金)・13日(月)
個別相談:4月24日(金)

- 災害対策用機械操作訓練
(国土交通省静岡国道事務所・静岡河川事務所共催)
・6月24日(水)
安倍川左岸河川敷(静岡市葵区与一5丁目地先)

- **建災防島田分会**
安全祈願祭 4月21日(火)10:00～
・国・県関係機関、分会役員、安全指導者が出席
安全パトロール
第1回 4月21日(火)5地区
第2回 5月19日(火)5地区
防災委員会(安全委員会)
第1回 5月19日(火)当協会
・委員会年間事業計画について
・平成27年度支部長安全衛生表彰受賞候補者の推薦について
・平成27年度安全指導者研修会の実施について
・島田地区建設業労働災害防止安全大会の開催について
・安全標語の募集について
・平成26年度無災害団体の支部長表彰について
足場の組立て等作業主任者技能講習会及び試験
・6月2日(火)～3日(水)当協会 受講者34名
型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習会及び試験
・6月9日(火)～10日(水)当協会 受講者17名
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習会及び試験
・6月16日(火)～18日(木)当協会 受講者31名
KY指導者養成講座
・4月22日(水) 当協会 受講者18名(分会員)

● 会員の届出事項の変更

会社名	変更事項	変更前	変更後	変更年月日
㈱三成	所在地	島田市阪本1246-1	島田市阪本1192	平成27年3月31日

● 今後の予定

- ・島田地区建設業労働災害防止安全大会
日時 平成27年7月3日(金)13:00～
場所 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
- ・平成27年度静岡県交通基盤部優良工事等表彰(部長表彰)並びに土木技術者研修会
日時 平成27年7月24日(金)13:30～
場所 県男女共同参画センター あざれあ
- ・親子現場見学会
日時 平成27年7月31日(金)8:00～17:00
場所 国道1号BP丸子薬科トンネル掘削工事現場・日本平動物園他
- ・平成27年度静岡県交通基盤部優良工事等表彰(所長表彰)並びに土木技術者研修会
日時 平成27年8月6日(木)13:30～
場所 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
- ・第17回大井川「川まつり」
日時 平成27年8月21日(金)10:00～16:00
場所 島田市民総合施設「プラザおおり」
問合先 静岡県島田土木事務所

【表紙解説】島田市伊太 大井川用水伊太発電所 小水力発電/893kW

「小水力発電」は、農業用水路における落差などを利用し、環境に優しい水の力で発電します。もともとある地形の落差を利用するため、大規模な水力発電に比べ建設時の環境負荷が少なく比較的短期間、低コストで導入が可能のため、農業水利施設の維持管理費の低減を図ることができます。



発電室内